

2006年6月

バクスターPD 研究基金
第15回(2007年度)研究助成対象者を公募

バクスター株式会社(社長:デイビッド・ワトソン社長、本社:東京都中央区)では、PD*研究基金を通じて、腹膜透析(PD)関連分野で活躍する医療従事者、並びに腹膜透析(PD)に資する分野の研究者を対象に研究助成を行っています。助成対象者は医師だけでなく、看護師、臨床工学士、栄養士、ソーシャルワーカーなど多岐に渡り、日本の腹膜透析に関わる全ての医療従事者および研究者が対象となっています。

これまで14年間で助成研究数は67件(延べ74人の研究者)、助成総額は1億円以上に達しました。基礎研究が36件(腹膜中皮細胞障害、腹膜硬化症の機序及び治療法、糖尿病性腎症の研究など)、臨床研究(腹膜透析患者の栄養状態、透析管理、予後研究、小児腹膜透析など)が31件で、腹膜硬化症や腹膜の障害に関する基礎研究は内外の科学学術雑誌に掲載されています。研究者の多くは臨床医或いは基礎医学の研究者で、日本の腎臓・透析医学界の将来を担う医療人として様々な分野で活躍されています。

研究助成対象者には、1研究につき最高300万円の研究費が支給され、本年度は5-10件の研究助成対象者が採用される予定です。

応募受付期間:2006年7月1日~7月7日(当日消印有効)

バクスターPD研究基金の選考委員会は3名の常任選考委員(公開)と3名の非常任選考委員より構成され、非常任選考委員はその年の募集テーマに応じて選出され任期は1年です。

常任選考委員

黒川清 (くろかわきよし)

国際腎臓学会理事長、日本透析医学会会長、米国 UCLA 医学部内科教授、日本腎臓学会理事長をはじめ、内外で数々の要職を歴任。現在は日本学術会議会長、並びに東京大学先端技術研究センター客員教授。

川口良人（かわぐちよしんど）

日本透析医学会理事長、日本腎臓学会総会会長、日本透析医学会名誉会員、日本腹膜透析研究会副会長など活躍は多岐に渡り、現在は東京慈恵会医科大学客員教授、神奈川県立汐見台病院顧問。

清水不二雄（しみずふじお）

腎研究会学術賞、日本医師会医学研究助成受賞。フンボルト財団奨学生としてフライブルグ大学（西ドイツ）に留学、研究に従事、新潟大学医学部附属腎研究施設教授を経て、現在は新潟青陵大学副学長。

1. 選考方法

選考は常任および非常任選考委員からなる選考委員会において以下の二段階選考を行ったうえ、助成研究課題を採択します。

1. 第1次選考（書類選考）
2. 第2次選考（面接選考）

募集要項はこちらをご覧ください。 <http://www.baxter.co.jp/ren/index.html>

PD*：Peritoneal Dialysis（腹膜透析）の略語

〈バクスター株式会社〉

バクスター株式会社は、腎不全、血友病、輸液、麻酔・疼痛管理の領域に特化した世界的なヘルスケアカンパニー、米国バクスター社の日本法人で、医薬品、医療機器、バイオサイエンステクノロジーを中心とした医療サービスを患者様や医療現場に提供しています。

本件に関する報道機関からのお問合せ先：

バクスター（株） 広報部 池田

(03) 6204 3662 または (03) 6204 3680